

北上川流域の工業団地と釜石港・大船渡港を結ぶ 物流ネットワークを強化します！

～北上川流域地域における「広域的地域活性化基盤整備計画」が認められました～

県土整備企画室

地域の活性化に必要な基盤整備とソフト事業を民間プロジェクトに合わせてタイミング良く効率的に実施する制度として、平成19年度に「地域自立・活性化交付金」制度ができました。

本県では、平成20年度からこの制度を活用し、北上川流域地域における「広域的地域活性化基盤整備計画」に基づく事業を始めます。

地域自立・活性化交付金の概要

平成19年8月に施行された「広域的地域活性化のための基盤整備に関する法律」に基づき、都道府県が作成する広域的地域活性化基盤整備計画（3年～5年）が国に認められた場合、計画に基づき実施される事業の費用に充当するために、国土交通大臣から都道府県に対して交付金が交付されます。（交付率約45%）

計画のプロジェクトイメージとして「生産物流機能の強化」、「観光活性化」等があります。

北上川流域地域におけるプロジェクトイメージ



＜生産・物流機能の強化＞

北上川流域地域では「ものづくり産業の集積」を図ることを目的に、産学官の連携により「北上川流域地域産業活性化協議会」が平成19年6月25日に発足した後、企業立地促進法に基づく「北上川流域地域産業活性化基本計画」が策定され、同年7月30日に経済産業省から第1号の同意を得たところです。

これを受けて、今回の整備計画では北上川流域地域に立地する自動車産業、半導体関連産業等の生産活動

に着目し、それらの内陸生産拠点エリア（北上川流域地域）の生産基盤の強化と更なる企業の集積を目標として、集積指定業種の企業から要望の高い、輸送効率の改善等を目的とした重要港湾（釜石湾、大船渡湾）と連絡する物流ネットワークの強化をプロジェクトとして位置付けたものです。

◆事業概要

＜計画期間＞ … 5ヵ年 ＜全体事業費＞ … 3,630百万円

北上川流域地域と釜石湾、大船渡湾を結ぶ国道397号、国道107号の改築・修繕工事(7箇所)および各湾において案内板設置等を行います。 【平成20年度交付額 …70,200(千円)】